



株式会社スズキ建築設計事務所の
SDGs (Sustainable Development Goals) の取り組み



SDGsの目標		当事務所の活動・取り組み
1	1 貧困削減	子ども食堂の実施・継続 地域企業・経営者・意識ある方々のボランティア参加、連携による貧困な子供達への応援。
2	2 飢餓・食の安全保障	近隣地域での子ども食堂の実施・食事の提供だけでなく、子ども達へ食事の作り方も教えている。
3	3 健康・福祉	国産木材・自然素材の積極的な内外部空間への採用・自然素材での住まいづくりにより、室内空気汚染対策を実践。
4	4 質の高い教育をみんなに 教育	日本の住宅建築における伝統技術の継承・職人の育成。 古民家再生の、ワークショップ活動を通して、働くことの楽しさ、建築技術の習得、伝承。 子ども食堂内でのボランティアによる、子ども達への学習支援。
5	5 ジェンダー	女性現場監督・作業員の採用・積極的な取り組み
6	6 水・衛生	セントラル浄水器の採用により、塩素対策・水の安全
7	7 エネルギー	国産木材を使用することにより、運送エネルギー削減・CO2の削減努力
8	8 経済成長と雇用	日本の木造住宅建築に携わる事で働きがいある環境を提供。
9	9 インフラインベション	国産材の無垢材使用により、災害被害住宅・建物の再利用建材により、災害廃棄物の削減。
10	10 不平等の削減	当事務所内での木工教室や餅つき会などのイベント・セミナー等、誰もが平等に参加する事が出来る。
11	11 住み続けられるまちづくりを 持続可能な都市	耐震診断による既存住宅の長期利用・空き家対策への参加。 健康で安全なオール国産材による住まいづくりの取り組み・実践により、安全な居住環境の実現。
12	12 つくる責任 つかう責任 持続可能な消費と生産	循環型資材である、国産木材の積極的利用。間伐材活用の国産桧無垢集成材の積極的利用・家具製作 山村や里山で、薪・燃料として使われていたクヌギ材等の、利用・活用。
13	13 気候変動	国産材・自然素材をより利用活用し、建築時のCO2排出を少なくし、地球温暖化防止のために努力。
14	14 海の豊かさを守ろう 海洋資源	塩化ビニール建材製品・建材を出来るだけ使用しない事により、水質汚染を減らし、海洋生物の生態を守る努力。一例として、塩化ビニール雨樋の不採用。
15	15 陸の豊かさを守ろう 土地利用	トレーサビリティによる国産木材の積極的利用、国産木材利用による林業の促進、循環資源の木材資源・CO2対策により、持続可能な森林への協力等 空き家対策への参加。
16	16 平和・法の支配	子ども食堂を通し、子ども達への暴力や虐待等に向き合い、解決策を模索する。
17	17 パートナーシップ	宮崎県産直住宅推進協議会でのパートナーシップにより、持続可能な国産木材・林業の活性化に取り組んでいる。